

皆さんの血液から、体の状態を調べる検査です。臓器の状態や赤血球・白血球の数などを調べることで貧血や糖尿病、体の状態、感染症などを調べています。



BLOOD TEST

血液検査でどこまで分かる？

血液検査は、**体の状態を知るための有効な手段**の一つです。肝臓、腎臓、心臓、甲状腺などの臓器の状態や赤血球・白血球・血小板の数を調べる検査などで、貧血や糖尿病、感染症、炎症などを把握することができます。

ただし、血液検査の基準となる値は、多く健康な人の検査結果から得られたもので、健康な人の95%が当てはまる数値と理解してください。健康な人でも、人種、年齢、性別、生活習慣など、数多くの理由

で異なることがあり、**基準値から外れているからといって、すぐさま異常というわけではありません。**

また、どんな検査の値を調べるかは、診察した医師が事前に決める（健診の場合は、その健診の種類やご希望によって決まる）ため、血液検査をしたからといって、**全ての病気がわかるわけではありません。**そのため、体の具合で気になるころがあれば、血液検査の前に必ず医師に相談をするようにしてくださいね。

皆さんがよくお聞きする 検査内容で分かること

公益社団法人日本人間ドッグ学会のホームページを参考に作成
基準となる数値などはホームページをご覧ください

- **ヘモグロビン(Hb)** 赤血球に含まれるたんぱく質の一種。少なすぎる場合は貧血が疑われます。
- **炎症反応(CRP)** 数値が高い場合は、細菌やウイルスなどの感染症、炎症を伴う様々な疾患を疑います。
- **血糖値** 数値が高い場合は、糖尿病や膵臓の障害が疑われます。
- **HDLコレステロール** 善玉コレステロール。少ないと動脈硬化の危険性が高くなります。
- **LDLコレステロール** 悪玉コレステロール。多すぎると心筋梗塞や脳梗塞の危険性が高くなります。
- **中性脂肪(TG)** 糖質・脂質・アルコールなどの取りすぎで高くなり、動脈硬化を進行させます。
- **AST(GOT)とALT(GPT)** 数値が高い場合は、肝臓の障害を疑います。

血液検査のご相談や気になることがある方は、お気軽にスタッフまでお声掛けください！

＼わかるかな？／



血液検査でバれてしまうものはどれでしょうか？
2つ選んでください。

- ① ヘソクリのありがた
- ② 飲み過ぎ
- ③ 将来の夢
- ④ 明日の天気
- ⑤ 喫煙していたかどうか
- ⑥ 食べ過ぎ